

小学校

s 6-5

6学年

速さ

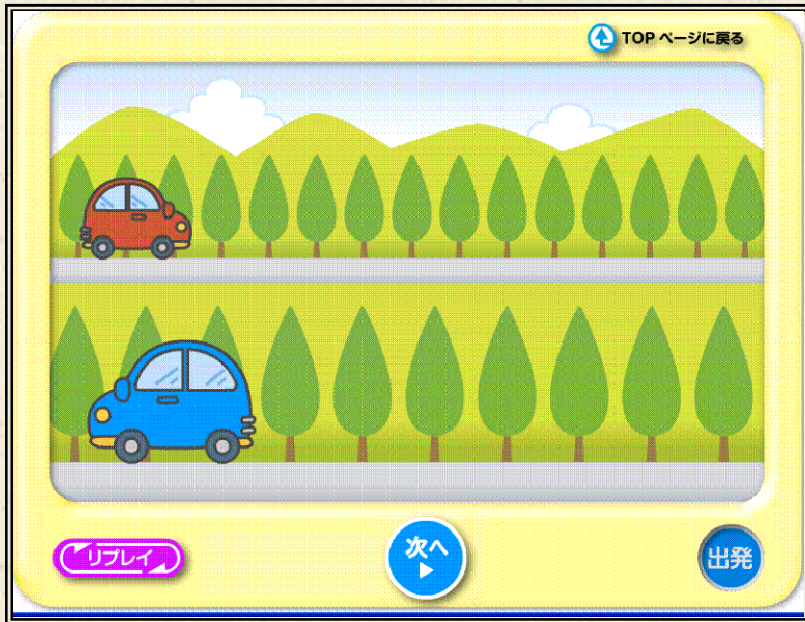
【ねらい】

速さについて理解する。

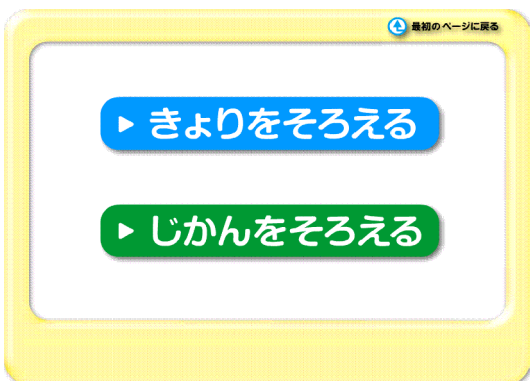
【特徴】

- ◇ スタート画面で「出発」をクリックすると、速さの比較できない場面を提示することができます。
- ◇ 速さを比較する方法として、時間をそろえる場合と距離をそろえる場合の二通りを示すことができます。

【関連する単元】



【活用場面】 導入段階での課題提示、算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



時間と距離の関係で捉える「速さ」を比べる際、「単位量あたりの大きさ」と同様に、一方の数をそろえる考えで解決するプロセスをつくることができます

遠近法を用い、走る距離も時間も方向も違う場面から、一方の数をそろえることで、もう一方の数の大小で比較できる考えへと導くことができます。

- ◇ スタート画面の「出発」をクリックして、手前の青と向こう側の赤の自動車を走らせませす。
- ◇ どちらの自動車が速いかを問います。
- ◇ 比較できない場合、なぜできないのか、その根拠を問います。



- ◇ 方向が違う、走った距離が違う、走った時間が違うなど自由に発表させます。
- ◇ どうすれば比べられるのかを問います。
- ◇ 向きをそろえ、「走る距離をそろえること」「走る時間をそろえること」の2つの考えにまとめます。
- ◇ それぞれ、何の数値の大小で比べればよいのか問います。
- ◇ 距離をそろえ、同じ距離を走らせるなら、時間の短い方が速いこと、時間をそろえ、同じ時間走らせるなら、距離の長い方が速いことを確認します。
- ◇ 「きよりをそろえる」をクリックし、どちらが速かったかを問います。また、判断の根拠も発表させます。



- ◇ 次に「じかんをそろえる」をクリックし、どちらが速かったかを問います。また、判断の根拠も発表させます。
- ◇ 様々な状況をプリントで提示し、自分の比べやすい方法で、速さ比べをさせます。
- ◇ どちらでも比べられることをおさえ、一般には一定時間に進む距離で速さを表していることを理解させます。
- ※ 「速さ」も他の量と同様に、「数値が大きい方が速い」ことを表すことができるよう、その方法をとっていることを知らせます。